# 第３学年１組　特別の教科　道徳学習指導案

令和８年１１月２０日（金）　第５校時　３年１組教室　指導者　村上　茉優

１　主題名　　よく考えて行動する（A節度、節制）

（教材名：ぼくを動かすコントローラー　出典：生きる力３【日本文教出版】）

２　目　標

自分のことを自分できちんとコントロールするとはどういうことかに気付き、自ら考えて度を過ごさない節度のある生活をしようとする心情を育てる。

３　授業計画

【ねらいとする道徳的価値について】

「節度・節制」は、自分の欲求や感情に流されることなく、自分の生活を振り返り、心身の健康や安全、これからの生活のことを考えながら、自分の行動を適切に調整していこうとする考え方である。特に中学年では、生活の中で「もっとやりたい」「まだ遊びたい」などの思いをもつ一方で、時間や体調、周囲への影響などを自分でしっかりと考えて行動することが求められる。自分の行動を決めるのは他者ではなく自分自身であることに気付き、目の前の欲求だけではなくその後の自分の生活や気持ちにも目を向けながら、自分で考え、よりよい行動を選択しようとする態度を育てたい。

【学習前の児童の姿】

本学級の子どもたちは、基本的な生活習慣が身に付き、自分でできることが増えている一方で、自分の興味や欲求を優先してしまい、生活の中で適切に気持ちを切り替えることが難しい姿も見られる。特に、ゲームや遊びなどの「楽しいこと」は「もう少し続けたい」という思いが強くなりやすく、時間やその後の生活を考えて行動を調整することに課題がある。また、「おうちの人に言われたからやめる」「先生に言われたからやめる」というように、周囲の働きかけによって行動を調整する経験も多いと考えられる。本教材を通して、「自分で自分を動かす」とは、やりたい気持ちやその場の感情のまま行動するのではなく、その後のことや周りの人への影響を考えて、自分でよりよい行動を選ぶことであることを考えられるようにしたい。

〈教材のこんな魅力〉【1時間完了】

・ゲームや遊びなど、「もっとやりたい」という経験は子どもたちにも身近であり、自分自身の生活を振り返りながら考えることができる。
・「やりたいことを我慢する」のではなく、自分の気持ちを受け止めながら、健康や生活、先のことを考えて行動を調整することの大切さに気付くことができる。
・「自分を動かしているのはだれか」という視点から、周囲に言われて行動するのではなく自分で考え、自分で自分の行動を調整することについて考えを深められる。

〈こんな手だてで〉

・自分の生活と教材をつなげて考えるために、「もっとやりたい」と思う生活経験を想起できるようにする。
・「自分をコントロールすること＝我慢」と捉えることだけで終わらないようにするために「やりたい」という気持ちも大切にしながら、よりよい生活のために自分で行動することについて考えるよう促す。
・自分の生活を振り返る場を設け、学んだことをこれからの生活に生かそうとする思いをもつことができるように焦点化する。

【学習後の児童に期待する姿】

・自分の「もっとやりたい」という気持ちと向き合いながら、これからの生活や周囲への影響を考えて自分の行動を調整し、よりよい生活を送ろうとする思いを高めている。

４　本時の指導

（1）指導の構想

導入では、児童に「つい夢中になってやり過ぎてしまうこと」を問いかけ、ゲームや動画視聴といった身近な体験を想起できるようにする。その際の「止めたいけれど止められない」という葛藤に共感しつつ問題意識を高め、教材への関心を高める。その上で、「ついやり過ぎてしまわないためには、どんな考えが大切だろう」という本時のめあてを設定・確認する。

展開では、「大丈夫」と言って家を飛び出した時や、おばあちゃんが先生に頭を下げている姿を見た時のけんたの気持ちを考えられるようにする。自分のやりたいことや勝手な判断を優先した行動が、家族など周囲の人に不安や迷惑を与えていたことに焦点を当て、自身の行動が周囲に及ぼす影響を客観的に見つめ直す機会とする。「けんたを動かすコントローラーはけんたが握っている」という言葉について、けんたがどのように受け止めたかを話し合う。自分の行動を決めるのは自分自身であり、やりたい気持ちのまま動くのではなく、自分で判断してブレーキをかけることが、気持ちのよい生活につながることを捉えられるようにする。さらに、「めあて」に戻り、授業のはじめにもっていた考えと比較することで、自分の考えの広がりや深まりを実感できるようにする。

終末では、授業を通した自身の学びを振り返る。「もっとやりたい」という素直な思いを受け止めつつも、今後の生活や心身の状態を考慮して自分の行動を主体的に調整し、よりよい生活を送ろうとする実践意欲や態度を育みたい。

（2）準　備　　（教師）挿絵

（3）学習過程

| 学習活動（時間） | 予想される児童の反応 | | | ※教師の支援 |
|---|---|---|---|---|
| 1　つい夢中になってしまうことについて考える。（5）<br>2　めあてを確認する。（3） | ついついやり過ぎてしまうことはありませんか | | | |
| | ・ゲーム<br>・YouTube<br>・お菓子 | ・楽しいからやめられなくて、遊びすぎちゃう。 | ・寝る時間になったからやめなきゃいけないことは分かっているけど、ゲームをやりすぎちゃう。 | ※児童が自分の生活を振り返り、本時の課題を自分事として捉えることができるようにするために、ついついやり過ぎてしまう身近な経験と結び付ける。 |
| | めあて　ついやり過ぎてしまわないために、どんな考えが大切だろう | | | |
| | ・我慢する。 | ・注意されたらやめる。 | ・時間を決めてやる。 | |
| 3　教材文を読む。（3）<br>4　家を飛び出したけんたの気持ちについて考える。（5） | 「だいじょうぶ」と言って家を飛び出したときのけんたはどんな気持ちだったかな | | | |
| | ・お腹すいてないから大丈夫。 | ・そんなに心配しなくてもいいのに。 | ・学校に遅れちゃうから、それどころではないんだ。<br>・一日ぐらい朝ごはん食べなくたって平気だよ。 | ※けんたの行動の背景にある気持ちに目を向けるために、「どうして『だいじょうぶ』と言ったのか」と問い返す。 |
| 5　おばあちゃんが先生に頭を下げている姿を見たけんたの気持ちを考える。（5） | おばあちゃんが病院の先生に頭を下げている姿を見たけんたはどんな気持ちだったかな | | | |
| | ・早く寝ればよかった。<br>・おばあちゃんの言うことを聞いておけばよかったな。 | ・悪いのはぼくなのに、おばあちゃんに悪いことしたな。<br>・夜遅くにおやつを食べずに、早く寝ればよかったな。 | ・自分がやりたいことばかり考えていたな。<br>・自分だけでなく周りの人も困らせてしまった。 | ※自分の行動が周囲に与える影響を実感できるようにするために、おばあちゃんが謝っている場面の挿絵を提示する。 |
| 6　自分を動かすコントローラーについて考える。（12） | 「けんたくんを動かすコントローラーはけんたくんがにぎっている」と言われて、<br>けんたはどんなことを考えたでしょう | | | |
| | ・夜更かししたから、朝ごはんが食べられなかったんだ。 | ・自分のことは自分で考えなければいけないな。<br>・自分を動かしているのは自分だな。だからしっかりしないとな。 | ・やりたい気持ちがあっても、やめたほうがいいときは、自分で止めることが大切だな。<br>・自分で行動できたら、自分も家族も心配にならない。<br>・何でも我慢することではなくて、自分にとってよいことを選ぶことが大切だな。 | ※ペアで互いの考えを聴き合い、自分の考えと比べることで、新たな考えに気付くことができるようにする。<br>【キーワードとなる児童の発言】<br>「自分で考える」<br>「我慢する」<br>【キーワードに対する切り返しの発問】<br>「自分で考えるってどんなことを考えて決めることかな」<br>「自分でコントロールしていることは、我慢することなのかな」 |
| 7　めあてに戻り、自分の考えの広がりを確認する。（7） | ついやり過ぎてしまわないためには、どんな考えが大切だろう | | | |
| | ・自分で考えて行動をする。 | ・家族や周りの人の気持ちも考えて、自分の行動を考える。 | ・自分がよりよい生活を送るために、自分の行動は自分でよく考えて行動する。 | ※授業前の自分の考えとどんな広がりや深まりが見られたか確認しながら考えられるようにする。 |
| 8　振り返り（5） | 今日の授業を通して、新しく学んだことを振り返ろう | | | |
| | ・自分で自分をコントロールしていきたい。 | ・やっていいことと悪いことを自分でしっかり考えてから行動できるようにしたい。 | ・自分がよりよい生活を送ることができるように、やる前に自分でしっかりと判断をすることができるようになりたい。 | ※振り返りを書くことが難しい児童には、板書に書かれていることで、一番心に残っていることを記述できるように支援する。 |

（4）評　価

・自分の「もっとやりたい」という気持ちと向き合いながら、これからの生活や周囲への影響を考えて自分の行動を調整し、よりよい生活を送ろうとする思いを表現しようとしているか。　（発言・ノート）